

第3回 長野広域連合広域計画策定委員会 会議録

【日 時】令和2年10月8日（木） 午後3時10分～午後5時00分

【場 所】ホテルメトロポリタン長野 3階「浅間」

【出席者】委員10名

松岡英子委員長、黒田和彦副委員長、岩渕道男委員、中村英三委員、
沖 弘宣委員、金井三平委員、手塚里子委員、中澤聖子委員、堀込祐子委員、
吉沢 正委員（欠席1名 高野 登委員）

事務局15名

【議事内容】

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

委員長：会議に先立ち、本日の会議は公開としたい。

（異議なし）

（1）調査結果報告

委員長：広域計画素案の審議に入る前に、本策定委員会で付託した高齢者施設等在り方検討分科会から報告を願いたい。

[高齢者福祉施設等在り方検討分科会座長から広域計画策定委員長へ報告書を提出]

座 長：（報告書の概要を報告）

委員長：分科会の皆様には、報告書を作成していただき心から感謝申し上げます。内容に関しては、素案に反映されている。後ほど説明するので、その際に質問・意見を頂きたい。

（2）長野広域連合広域計画（素案）

ア 広域計画（素案）の説明

事務局：（資料1「7職員の共同研修に関連して広域連合及び関係市町村が行う事務に関すること」及び机上配布資料2-2について説明）

委員長：修正前は、何が書いてあるのか。

事務局：9月17日の素案である。

委員長：最初のものか。

事務局：そのとおり。

委員長：長野地域連携中枢都市圏の連携事業は、国が補助金を交付するというので、長野市と関係市町村が一緒にやる事業は別途行われていて、広域に補助金はないため、そちらの方に少しシフトしている部分がある。広域としてはやりにくいところがあるが、その中でもここに示したような、小さな市町村ではできないようなものやっというところのこと。何か意見はあるか。

委 員：共同研修の参加者の人数が書いてあるが、これはそれぞれ対象者が異なっているのか。どういった方を対象として、この共同研修を企画しているのか、教えていただきたい。

事務局：対象者は、9の関係市町村の職員である。各テーマごとに、関係市町村の企画担当を通

じて、参加者を募っているもの。関係市町村の担当課長に集まっていたき、テーマのニーズ調査をさせていただいた上で開催をしているものである。

委員長：よろしいか。参加人数の多少があるので、どのような呼びかけなのかと思ったということではないか。実務専門研修など、呼びかける人数や会場の広さが関係してくるのではないか。

事務局：そのとおり。実務専門研修については、専門的な研修のため対象者は限定されてくる。講演会については、仕事につながるモチベーションの維持、ポジティブな考えということで、30年度は書道家の武田双雲さんをお呼びしたりしている。今後の方針の中にあるとおり、関係市町村が望んでいるものについて、連携中枢事業とバッティングしないようなものを企画立案していこうというものである。

事務局：（資料1「8広域的な課題の調査研究に関すること」について説明）

委員長：だいぶ分かりやすくなったが、いかがか。現状と課題で、下に判断基準があるが、4行目の「五つの区分」に対応しているのか。

事務局：そのとおり。

委員長：そのように書いて欲しい。突然、判断基準とあっても、どれと関連しているかがよく見えてこない。

事務局：分かりやすく修正したい。

委員長：その他に、何かあるか。よろしいか。

（意見・質疑なし）

委員長：全ての計画素案の説明をしていただいた。全体を通して、不明な点や意見など出していたきたい。いかがか。

要望だが、表についているタイトルと、タイトルの番号、表1や表2、図1や図2、形式だが、同じようになった方が良いと思う。

事務局：全体確認をする中で、統一したい。

委員長：SDGsの部分に「ターゲットにおけるキーワード」とあるが、キーワードとは単語である。文章全体がキーワードというのが、違和感がある。

事務局：また確認をさせて頂く。

委員長：ターゲットとキーワードで、同じの番号でも表記の仕方が違う。全体を通して、統一していただければ良いと思う。

イ 広域計画（素案）修正の説明

委員長：素案の他の部分について、どのように修正したか一括して事務局から説明願いたい。

事務局：（資料2-1、机上配布資料2-2について説明）

（机上配布1・机上配布資料2により、高齢者福祉施設等あり方検討分科会の報告書について説明）

（資料1「2高齢者福祉施設等の管理及運営に関すること」の今後の方針及び施策について説明）

委員長：前回ご発言された方は、それぞれご自分が指摘した箇所はうまく直ってるかどうかを、まずチェックして頂きたい。

今の最終処分場の愛称についてだが、パブリックコメントの時には、出せないか。

事務局：パブコメは、11月18日から12月7日に行う予定で、愛称を含める。

委員：表とグラフについて、表の年次がグラフの年次になっていると思うが、少し分かりづらい。

事務局：工夫させていただきたい。

委員：関連して、年次を同じ表記にした方が見やすいと思うので、可能な限り合わせていただければ良いと思う。検討していただきたい。

事務局：可能なものについては、表記を統一させていただきたい。

副委員長：高齢者の分科会の報告書が「極めて困難である」と非常にきつい表現をされたが、この報告書は公表されるのか。市町村の負担がなければ極めて困難であるとか、あまり強い表現で言い過ぎてしまうと、いかがなものかと。

事務局：報告書は、一般に公開する予定である。

副委員長：とすれば、表現を見直してくれないか。きわめて困難であるなど、入所している人にとってはすごく不安を煽る言葉である。もう少し柔らかい言葉の表現でいいのではないかと思う。

事務局：表現の修正は、座長さんも含めて、相談させていただきたい。

副委員長：私達は計画の策定を委任されているため、この報告書の中身まで踏み込むつもりは全くないが、「公開するならば注意して下さい」と余計なことを申し上げているが、その辺ご理解頂きたい。

委員長：表現をもう少し柔らかく、というご指摘。報告書は預かっているのですが、座長さんからご意見をいただきたい。

委員（座長）：ご指摘いただいた部分はごもっともかと思しますので、その辺を配慮して表現を少し修正していただければ良い。

委員長：では、座長さんもそのようなご意向ということで、表現をもう一度見直して、現に入所されてる方や家族、職員に、あまり大きな衝撃を与えないようお願いしたい。

報告書の公開は、どのようにするのか。

事務局：ホームページに掲載いたしたい。

委員：座長から回答されたので、そういう方向で結構だと思うが。今回、分科会でもいろいろな意見があり、最終的にそういう表現を入れていただいたというのが実態である。今の経営実態を見ると、経営として成り立っていない。各市町村から応分の負担をいただければ、当然経営はできるが、非常に深刻な状態にあるという事を、皆さんに理解していただくということは必要だと思うので、厳しい表現になったということは、ご理解いただきたい。このまま放っておくと、非常に経営上重大な問題になる。各市町村の皆さんの負担が増えてしまうことにもなるので、そういった状況を汲んで、計画を策定していただければと思う。

委員長：経営は非常に厳しい、大変だということは、私も重々承知している。非常に危機感を持って取り組んでいただいたということだと思うので、皆さんの意向も汲みつつ、うまくまとめていただければいいかなと思う。

委員：SDGs そのものの17の項目の一覧表を、どこかに入れて頂いて、この文章の一番最後に「参考としてどこどこにSDGs の一覧表があるよ」ということを表記していただくと、全体像が非常にわかりやすくなるのではないかと。

事務局：付属資料として掲載できますので、検討した上で分かりやすくしたい。

委員：机上配布の広域計画素案の18ページ、高齢者の施設の運営のところ、1番上の丸に「役割を担っていることと相まって」と書かれているが、読んだ時に分かりにくく、その辺の表記がもし工夫できるのであれば、ご検討をお願いしたい。

もう1つ、高齢者福祉施設の報告書の中には、民間の参入が難しいような部分について、広域連合が運営している施設については、補完する役割を担う必要があるという記載がある。そのような施設はどうなっていくのかということは、この広域計画の方に何か入れる必要があるのではないか。その辺の検討が、どんな感じなのかお伺いしたい。

事務局：行政が指導・監督の役割を担っていることと相まって、民間主体は確実に効果的な施設の運営の担い手となっている状況です、ということ。「相まって」の表現の意図したところは、監査を通じて適正な運営を監督している行政の役割と、民間の柔軟な運営が相まって民間で行っているというような趣旨である。分かりづらいということで、表現の工夫をしたい。

また移管困難な施設については、中山間地、あるいは行政措置という仕組みで入所者を待つ養護施設は、民間事業としては馴染みづらいであろうと想像している。特に中山間地域については、広域の施設が入所施設とデイサービスを併設していることもあり、単に状態が悪くかつ民間の参入が見込めないからといって直ちに閉じるという選択はありえない。居宅について必要なサービスを提供し続ける補完的な役割が必要になる、という考えで記載している。ただし想像はできるが、実際に困難かどうかの評価までには至っていないので、今回の広域計画には、記載することは控えたという状況である。

委員：今回の広域計画では、どうなるかわからないところもあって、なかなかはっきりと記載するのは難しいということか。基本的には、全ての施設等について移管を検討するという方針だと思うが、検討の中では、いろいろ考えなきゃいけないところも出てくるかもしれない。そういう風に受け止めておけばよいのか。

事務局：そのとおり。全ての施設を移管の対象としていきたいというのが、この方針に示したとおりである。実際の移管について、分科会から提案いただいたオプションについても、効果的な組み合わせ等を検討していく中で、具体化していきたい。

委員：分かった。「対象とします」が、断定的という感じが受けとれたので。

委員長：在り方検討の報告書、概要版の4ページの下に図があるが、その座標に何施設ぐらい入るとかのシュミレーションはしたのか。そういうわけではなくて、軸としては、これはあるなっていうことなのか、ちょっと教えていただきたい。

事務局：この分科会においては、評価の方法について提言をいただいたまで。具体的に施設が当てはまるかまではやっていない。今後、これに基づいて、事務局の方で速やかに整理していきたい。

委員長：分かった。

素案の18ページ、最後のまとめのところ。従来の1施設ごとに加えて、複数施設を対象とするという、これは何を意味しているのか。1施設じゃなくて、複数施設を一緒にという意味か。

事務局：提言は2種類。一つは、従来に近い形で、段階的な移管。施設群のグルーピングをした中で移管をする。もう一つは、新しい社会福祉法人を設立し、その社会福祉法人に運営を移管したらどうかという提案。いずれも、19年の提言時とは状況が違い、スピード感をもって移管の事務を進めていく。より効果的な方法を組み合わせとしても考えていければと考えている。

委員長：複数施設を対象とするという表現が、何を意味しているのか。抱き合わせにするというのものもあるし、1施設ごと順番ではなくて、同時進行で移管するという方法もあるでしょう。この複数施設を対象とするという表現が、今一つちょっと頭に入ってこなかった。

事務局：意図とすれば、施設群のグルーピングをするというような事をイメージした表現である。ただ、施設群を作って、その施設だけを既存の民間に移管するという事だけではなく、新しい社会福祉法人を設立ということも提言いただいているので、より効果的な手法の例示として、複数施設を対象とするとした。社会福祉法人の新設ということを含めて、手法を検討の上進めていきたい。

委員長：中身はわかりましたが、この表現が適切かということ、検討いただければと思う。

副委員長：オプションとして提言していただくのもいいが、社会福祉法人を設立なんて、できるのでしょうか。広域連合としてそんな余力あるんですか。社会福祉法人設立は、慎重に考えないといけないと思います。表現の問題ではなくて、方向の問題ですから。広域連合が新しい法人を作って、言ってみればそちらに突き放しちゃうと捉えかねない。事務局全体で相談してください。ただの表現の問題ではなくて、方向の問題ですから。

事務局：そのとおり。提言頂いているものなので、大切に検討はしていきたいと思っているが、行政としても新社会福祉法人を自ら新設するという経験がないため、本当にできるかどうかという検討は、今後していかなければならない。この広域計画の中では、具体的に表記するのは控えさせていただいた。

委員長：あまり例示しないで、より効果的な手法や方法でいきますとか、そういうこと。

副委員長：あまり報告書に引っ張られちゃうと、安易な方向を出してしまう。それは、もう議論する場が無いから。その辺は慎重に行かないと。誤解を生むのなら削除すればいいし、説明ができるのだったら入れればいい。ただし、方針を各面から徹底的に議論しないといけない。

委員：分科会では、大変深く揉ませていただいた。今まで段階的に黒字の所から移行している。このままいくと、赤字だけ残るといふこと。となると、ますます広域の負担が大きくなる。介護保険事業は、もう大部分が民間になってきているため、そちらにどうしていったらできるかということでお話しさせていただいた。その中の一つの方法として、新しい社会福祉法人の設立、公設民営、全て民間に移してしまう方法、いろいろなオプションを考えながら、どれが一番いいかというところを探ってきた。その中で、一番利用者にショックがなくて、今働いてる人がもし新しい法人に移行していく意思があるならば、それも一つの方法。そういう方法も早急に進めて行かなければいけないんじゃないかなというのが私どもの考えである。

委員長：色々模索して、まだどれがいいという結論は出ていないが、いろいろな選択肢を示してみた、ということですね。

それでは、修正したほうがいいということがございましたら、事務局の方に一週間ぐらいの間にお伝え頂ければ。その後事務局と私とで全体をチェックし、パブリックコメントに備えて、文章を整えていきたいと思いますが、その辺よろしいか。お任せいただけるか。

(異議なし)

(3) その他

事務局：(今後のスケジュールについて説明)

4 閉会